

2025 年 11 月 13 日

旭有機材株式会社

旭化成エレクトロニクスの子会社である旭化成エレクトロニクス株式の半導体製造工場施設の活用に関する協議開始のお知らせ

旭有機材株式会社（所在地：東京都台東区、代表取締役社長執行役員 CEO：中野 賀津也）は、管材システム事業の競争力強化のため主力生産拠点である延岡製造所（宮崎県延岡市）の次世代化について検討してきました。このたび旭化成エレクトロニクス株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：篠宮 秀行）が保有する半導体製造工場施設（宮崎県延岡市）の活用について、同社と協議を開始しましたので、お知らせいたします。

なお、現時点において正式な契約締結や投資決定に至ったものではありません。今後、詳細が決まりましたら速やかに公表いたします。

1. 延岡製造所の次世代化について

管材システム事業は、樹脂管材製品の製造から配管設計・施工までを一貫して手掛けるトータルソリューションに強みを持つ、当社の主力事業です。耐食性・耐薬品性に優れた当社の樹脂管材製品は、製鉄・化学・半導体などの工場をはじめ、水族館や農業用水など幅広い用途で使用されています。これらの主要部材は延岡製造所で生産し、世界中に供給しています。

グローバル需要が拡大する中、当社は基幹製品の海外市場の拡大に伴う延岡製造所の製造能力の増強および Dymatrix™（ダイマトリックス）製品のグローバル需要に応える新工場の建設を新たな管材システム事業の施策として掲げています。管材システム事業の競争力確保のためには、生産プロセスの革新や自動化による生産性向上を見据えた延岡製造所の次世代化が不可欠であり、これまで具体的な検討を進めてまいりました。

今般、こうした施策の推進にあたり、旭化成エレクトロニクスが保有する半導体製造工場施設の活用可能性について同社と協議を開始いたしました。引き続き、管材システム事業のさらなる競争力強化と持続的成長の実現に向けて取り組んでまいります。

2. 今後の見通し

現時点で正式な契約締結や投資決定については未定ですが、中期経営計画「GNT2025」（2021 年度-2025 年度）の期間内における意思決定を目指してまいります。